

7. 病院群の構成等

別表

基幹型病院の名称（所在都道府県）：医療法人徳洲会 名古屋徳洲会総合病院（愛知県）

基幹型病院				協力型病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
愛知県		(病院施設番号：030425)		神奈川県	横浜東区医療圏		湘南鎌倉総合病院 (病院施設番号：030280)		鹿児島県			徳之島徳洲会病院 (病院施設番号：030951)		名古屋徳洲会総合病院 臨床研修プログラム	6
				愛知県	名古屋医療圏		もりやま総合心療病院 (病院施設番号：030411)		鹿児島県			名基徳洲会病院 (病院施設番号：031000)			
				京都府	山城北医療圏		宇治徳洲会病院 (病院施設番号：030485)		山形県			庄内余目病院 (病院施設番号：031060)			
				福岡県	筑紫医療圏		福岡徳洲会病院 (病院施設番号：030694)		北海道			日高徳洲会病院 (病院施設番号：031061)			
				愛知県	東海東部医療圏		公立陶生病院 (病院施設番号：030419)		北海道			帯広徳洲会病院 (病院施設番号：031070)			
				岐阜県	東濃医療圏		土岐市立総合病院 (病院施設番号：030364)		北海道			共愛会病院 (病院施設番号：031121)			
				愛知県	名古屋医療圏 東海中部医療圏		名古屋市立西部医療センター (病院施設番号：030915)		山梨県			白根徳洲会病院 (病院施設番号：031122)			
				大阪府	豊能医療圏		吹田徳洲会病院 (病院施設番号：168249)		鹿児島県			大隅鹿屋病院 (病院施設番号：031123)			
				愛知県	名古屋医療圏	追加	中部ろうさい病院 (病院施設番号：030399)		山形県			新庄徳洲会病院 (病院施設番号：031124)			
				岐阜県	西濃医療圏	追加	大垣徳洲会病院 (病院施設番号：100015)		新潟県			山北徳洲会病院 (病院施設番号：032540)			
									鹿児島県			喜界徳洲会病院 (病院施設番号：033277)			
									鹿児島県			瀬戸内徳洲会病院 (病院施設番号：033278)			
									鹿児島県			屋久島徳洲会病院 (病院施設番号：033278)			
									鹿児島県			沖永良部徳洲会病院 (病院施設番号：033280)			
									鹿児島県			与論徳洲会病院 (病院施設番号：033281)			
									沖縄県			宮古島徳洲会病院 (病院施設番号：033295)			
									埼玉県			皆野病院 (病院施設番号：041002)			
									鹿児島県			笠利病院 (病院施設番号：041003)			
									愛媛県			宇和島徳洲会病院 (病院施設番号：041004)			
									沖縄県			石垣島徳洲会病院 (病院施設番号：041005)			
									鹿児島県			山川病院 (病院施設番号：076095)			
									北海道			札幌南徳洲会病院 (病院施設番号：056506)			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

【産婦人科研修】これまでのプログラムにおいて湘南鎌倉総合病院と宇治徳洲会病院のみであったが、同一県内の公立陶生病院を協力型病院として受け入れをお願いした。年度によって公立陶生病院のみで当院全ての研修医の受け入れが厳しくなる可能性もあり、既存の湘南鎌倉総合病院と宇治徳洲会病院もそのまま協力型病院として入れている。もう一つ同一県内で研修が出来る様、今後探して行きたい。湘南鎌倉総合病院と宇治徳洲会病院とは相互間で臨床研修についての指導教育の連携を図っており、更に宇治徳洲会病院とは、研修医対象とした勉強会を合同で年3回の頻度で実施している。これまでの研修医にも大変評価を頂いている。

【選択科（救急）】福岡徳洲会病院においては、当院は2次救急病院のため、3次救急病院での救急研修も可能と出来ればプログラム内容にも幅が広がると考えます。当院プログラムの売りの一つとなっている。同一県内で3次救急病院で受け入れいただける病院がなく、福岡徳洲会病院を病院群の一つとして入りたい。当然相互間で臨床研修についての指導教育の連携を図っております。

協力施設【地域医療 共通】
僻地離島の協力施設の多くは、大学病院や救命救急センターへのアクセスが困難な地域に立地しております。
また、マンパワー・設備の両面で都市部の病院と比較して、様々な制約があります。
しかしながら、地域でも多くの救急搬送があり、地域内で出来る限りの初期診療を行うことが求められます。
そのような環境に研修医を派遣することにより、地域における救急医療の現状を経験すると共に、「救急患者を断らない」マインドの育成を目指しております。
初期診療を行った上で、地域内で対応困難なケースについては高次医療機関への搬送を行うこととなりますが、離島では自衛隊の協力の下、長時間の搬送を要する場面が少なくありません。

全国的にドクターヘリも運行されておりますが、夜間や離島ではドクターヘリでの搬送も困難です。
このような環境で搬送の決断を下し、搬送に同行することも都市部の医療機関では経験出来ない貴重な体験になります。
当院では、上記の経験を積むことが「救急を断らない医師」の育成に必須と考え、県を越えて経験可能な僻地離島病院へ派遣を行っております。
僻地離島では、派遣先の病院が地域唯一の入院設備を持つ急性期医療機関であることが少なくありません。
そのような地域では、地域コミュニティの新生児から高齢者まで全ての年齢層の窓口となります。
また、急性期診療から慢性期のフォローアップ、更には住民教育などの予防医療まで、幅広くカバーする役割を担っており、地域のインフラと言っても過言ではありません。
このような幅広い医療は、医療機能が細分化された都市部では経験することが困難であり、県を越えて派遣する大きな理由となっております。

※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に記入すること。
※ 病院群を構成するすべての基幹型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。
※ 当該病院群に係るすべての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む）を「研修プログラム」欄に記入すること。